

# 112 イシガイ

(イシガイ科)

兵庫県ランク:C

*Unio douglasiae nipponensis*

環境省ランク:指定なし

### 種の概要

北海道南部から本州、四国、九州にかけて全国的に分布し、将来的に2種に分けられる可能性がある。川の中・下流や支流、水路、湖沼に生息する。殻長50mm程になり、殻はやや細長く後端部は細まる。殻頂周辺には小疣状または不連続な漣状の彫刻があり、幼貝や若貝では顕著である。殻色は黒色で、亜成貝時は緑や黄色味を帯びる。

### 主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○			△	△			○

### 県内分布

三田市、加古川市、小野市、加西市、加東市、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、太子町、豊岡市、養父市、篠山市、丹波市

### 県内における生息状況及びその他特記事項

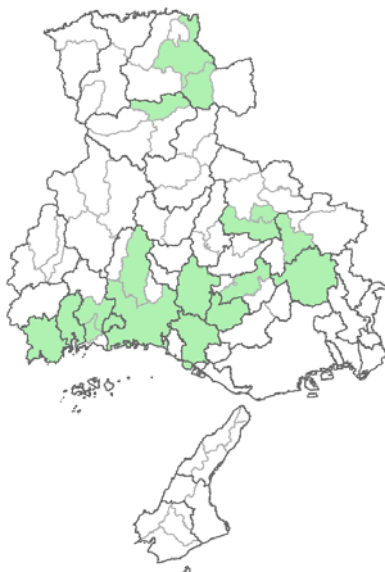
新規追加種。瀬戸内海側では、主だった河川やため池に生息し、日本海側では円山川水系のみで確認している。生息地では多産箇所も少なくなく、市街地の水路にも生息箇所がある。しかし、水路や細流の環境悪化、幼生のホスト魚を食害するオオクチバスの影響を考えると楽観視できない。

### 保護上の留意点

ため池では水質を保全するために適度な池干しを実施し、ホスト魚のシマヒレヨシノボリなどを絶やさないためにオオクチバスとブルーギルの侵入阻止や駆除を徹底する。流れの緩やかで砂泥が堆積し、初夏に魚類が豊産する水路や小川、支流を維持していかないと、近い将来、他種と同様に絶滅が危惧される。



写真提供：増田修



写真提供：増田修

【執筆者】 増田修